

県社保協ニュース 29期 No.2

連絡先 電話 054-287-7355 FAX 054-287-7356

Eメール Kodaken0620@yahoo.co.jp

静岡県社会保障推進協議会

事務局長 小高 賢治

社保運動を広げよう！住みよい掛川をつくる市民連絡会が結成総会開く！

「住みよい掛川市をつくるために日頃から奮闘している各団体が、情報を共有、交流するとともに、統一した力で掛川市に各種要望を働きかけ実現し行くことを目的」に、掛川市内の6団体（掛川北生健会・掛川南生健会・小笠掛川民商・新婦人掛川支部・年金者組合小笠掛川支部・掛川の地域医療をよくする会）代表が8月6日、生協緑ヶ丘店集会室に集まり「住みよい掛川をつくる市民連絡会」を結成しました。各団体からは、この間市に対して要望を繰り返しても中々実現しない状況が報告され、連絡会の結成を歓迎する発言が相次ぎました。

最初の取り組みとして「健康保険証の存続を求める意見書」採択を！

総会では、連絡会は団体で構成し、代表世話人に掛川北生健会会長の水谷陽一さん、事務局長に掛川の地域医療をよくする会代表の遠山陽一朗さん、事務局次長に小笠・掛川年金者組合の清水昇さんがあたること、必要に応じて世話人会を開催して統一要望書を市に提出することなどを「申し合わせ事項」として確認しました。結成後最初のとりくみとして、「健康保険証の存続を求める意見書」採択を求める陳情書を8日に提出すること、統一要望書は10月に提出することを確認しました。また、掛川の地域医療をよくする会が「带状疱疹ワクチン接種費用に対する公費助成を求める陳情書」を同じく8日に提出予定であることも紹介されました。



マイナ保険証 申し込んでなくても個人情報間違って紐付けられるの？

静岡市医療と福祉をよくする会は8月8日マイナンバー保険証と来秋の保険証廃止について、静岡市保険年金管理課と懇談を約1時間行いました。保険年金管理課から4名、よくする会は各団体から10名が参加しました。懇談は事前に渡した質問項目に沿って保険年金管理課から回答をいただき、それをふまえて質疑応答をしました。参加者から現在の保険証がなくなることで、患者や医療機関に混乱が生まれるので静岡市として国に対して意見書をあげてほしいと要望しましたが、「難しい」という回答でした。懇談を終えて問題点が2つあると思いました。1つは、保険料滞納世帯等に発行している「短期保険証」が廃止されること。現在短期保険証で受診されている人が医療を受けられなく可能性が生まれます。2つ目に、マイナ保険証をつくっていない人の情報が誤って他の人のマイナンバーに紐づけられる可能性があることです。今までマイナンバー保険証を申請した人の中での紐付けミスだと思っていましたので驚きでした。医療を受ける権利と個人情報保護の点から問題があることを感じました。今後は静岡市議会に向けて、国に対して現行の保険証を存続させる意見書をあげるよう働きかける予定です。

